

念仁波念遠入礼帖

芥川龍之介

青空文庫

燕雀生えんじやくせいといふ人、「文芸春秋」三月号に泥古残念帖でいこざんねんちやうと言ふものを寄せたり。この帖を見るに我等の首肯しゆこうし難き事二三あれば、左にその二三を記し、燕雀生の下問を仰がん。

(一) 春台しゆんだいの語、老子に出でたりとは聞えたり。老子に「衆人熙々きき。如享太たいらうをうけるがごとし。如登春台しゆんだいにのぼるがごとし」とあるは疑ひなし。然れども春台を「天子が侍姫に戯るる処」とするは何の出典に依るか。愚考によれば春台は礼部の異名なり。礼部は春台の外ほかにも容台とも言ひ、南省とも言ひ、礼れいとも言ふ。春の字がついたとて、いつも女に関係ありとは限らず。宋の画苑ぐわえんに春宮秘戯図ある故、枕草紙を春宮とも言へど、春宮は元来東宮のことなり。

(二) 才人を女官の名とするも聞えたり。才人の官、晋しんの武帝はじまに創り、宋時に至つて尚なほ之を沿用す。然れども才子を才人と称しても差支へなきは勿論なり。辞源にも「有才之人曰才人。猶言才子なほざいしといふ」とあるを見て知るべし。燕雀生は必しも才人と言つてはならぬと言はず、しかしならぬと言はぬうちにもならぬらしき口吻こうふんあれば、下問を仰ぐこと上の如し。

(三) 佐藤春夫、「キイツの艶書の競売に附せらるる日」と題する詩を賦ふしたりとは聞えず。賦すとは其事を陳ちんずるなり。転じて只詩を作るに用ふ。然れども、キイツ云々の詩はオスカア・ワイルドの作なれば、佐藤春夫の賦ふす筈なし。それを賦したと言はれては、佐藤春夫も迷惑ならん。賦すに訳すの意ありや否や、あらば叩こう頭百拜すべし。

(四) 門下を食客の意とは聞えたり。平原君に食客門下多かりし事、史記にあるは言ふを待たず。然れども後漢書承宮伝に「じよせいろをすきけいをきくついにこうてもんかにとどまる過徐盛慮聽經遂請留門下」とあり。門

弟子の意なるは勿論なり。然らば誰その門下を以て居るも差支へなき筈がってんにあらずや。「青雲の志ある者の軽々しく口にすべき語にあらず」とは燕雀生の独り合点なり。

文芸春秋の読者には少年の人も多かるべし。斯かかる読者は泥古残念帖にも誤られ易きものなれば、斯かくて念には念を入れて「念仁波念遠入礼帖」を艸すること然り。

大鵬生たいほうせい

(大正十四年四月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

念仁波念遠入礼帖

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>